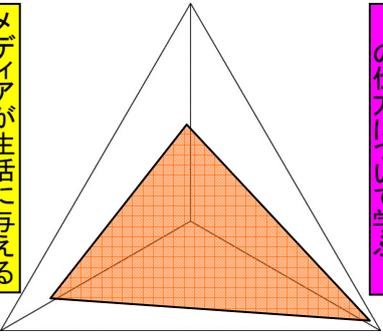


実践名	個人情報の流出に気をつけよう (小学校5・6年, 1単位時間)	
授業のねらい	事例を通して個人情報を搾取しようとする手口について知り、自分の個人情報を自分の手で守ることができる。	
この実践のメディアつきゾーン	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ </div> 	実践の意図 <ul style="list-style-type: none"> ○想定する子どもの状況 現在のネット社会には、子どもが危険に触れないための仕組みはまだ確立されていません。好奇心旺盛な子どもたちが個人情報を搾取するような手口にはまらないよう、具体的な事例の読み取りを通して「危険な感じ」を感じ取り、自ら避けることができるようにしたい。 ○パッケージの目標 ・個人情報を搾取するための手口は日々変化していく。どのような手口でも対応できるよう、わかりやすい事例から段階的に読み取る事を通して、共通する問題点に気づく目を育てる。

受 = 情報の受け手としての力を育てるために

送 = 情報の送り手としての力を育てるために

I、事例1を見て自由に意見を述べる (5分)

- 受** ○、「こんなメールがきました。」「クリックしてみようか」
(提示したままクリックしてみせる。)
画面を見ながら、次に起こることを想像する。思ったことをつぶやく。
 - 送** ○、「入力してみようか？」
(提示したまま入力、送信してみせる。)
画面を見ながら、次に起こることを想像する。思ったことをつぶやく。
(この場面では全体に意見を求めたり、教師側からコメントしたりせず、子どもたちが感じたことを自由につぶやけるように仕向ける。)
- Web1(mail): 拡大提示プロジェクト、PC、

II、事例2を見て、自由に意見を述べる(5分)

- 受** ○、「こんなアンケートがきたんだけど、どうする？」
画面上の文章を読んで、どうすべきか考える。思ったことをつぶやく。
 - 送** ○、「困っているみたいだから、助けてあげようか」
(目の前で入力、送信。)
画面を見ながら、思ったことをつぶやく。
- Web2(page2): 拡大提示プロジェクト、PC

III、2つの事例に共通する問題点に気づく(15分)

- 受** ○、ふたつの場面を見て、今どんな気持ちですか？何か問題はあったかな？
「よくないことをした」という反応が多いと予想される。
何がどうよくないのか、具体的に発表する
 - 、どちらも名前や住所を記入させましたね。本当の目的は、個人情報を集める事だったのです。
- Web1, Web2: 拡大提示プロジェクト、PC

IV、問題点を整理し、対応する心構えを考える(15分)

- 受** ○、1つ目はプレゼントを送るという理由で、2つ目はみんなの親切な気持ちを利用して、個人情報を聞きだそうしました。手口はいろいろあるけれど、欲しいのは個人情報です。
- 送** ○、ひっかけられないようにするには、どうすればよいでしょう。
・知らない人からのメールは無視する。・よくわからないリンクはクリックしない。
・家の人や先生など、身近な大人の人に相談する。
- 、あぶなさそうなものは気をつけていればわかります。自分で防げるのです。

IV、事例3を見て、対応する行動を確認する(5分)

- 送** ○、最後に一つメールを見せます。どこが、どうおかしいのか。自分はどうしたらよいのか。
受 ワークシートに考えたことを書きましょう。
- Web3(page3): 拡大提示Ws(応用事例)PJ,PC